記者発表資料

平成３１年２月２２日
三陸沿岸地域道路等防災対策連絡協議会
（国土交通省三陸国道事務所）

復興支援道路《東北横断自動車道釜石秋田線》

トンネル防災訓練を実施します

【東北横断自動車道釜石秋田線　定内トンネル（仮称）】

国土交通省が事業を進めて参りました、東北横断自動車道釜石秋田線 釜石ＪＣＴ～釜石仙人峠ＩＣ間の延長約６㎞が、平成３１年３月９日（土）に開通することになりました。

開通に先立ち、東北横断自動車道釜石秋田線「定内（さだない）トンネル（仮称）（延長808m）」において、トンネル内での重大事故を想定し、トンネル設備の作動確認、情報伝達、交通規制、救助救護等の防災訓練を国土交通省と関係機関が合同で実施します。

１．日　　時：平成３１年　２月２８日（木）　１０：３０～１１：３０
（終了時刻は、前後する場合がありますので、あらかじめご了承願います。）
※受　付　　１０：００～

２．訓練場所：釜石市甲子町（かまいしししかつしちょう）地内
東北横断自動車道釜石秋田線　「定内（さだない）トンネル（仮称）」

３．内　　容：主な訓練内容
１．通報訓練
２．通行障害車両移動訓練
３．救助・救出訓練
４．火災防御訓練
５．危険物流出処理訓練

４．参加機関：三陸国道事務所
南三陸国道事務所
釜石市
岩手県警察本部
釜石警察署
釜石大槌地区行政事務組合消防本部

※　天候、その他の理由により訓練を中止する場合があります。

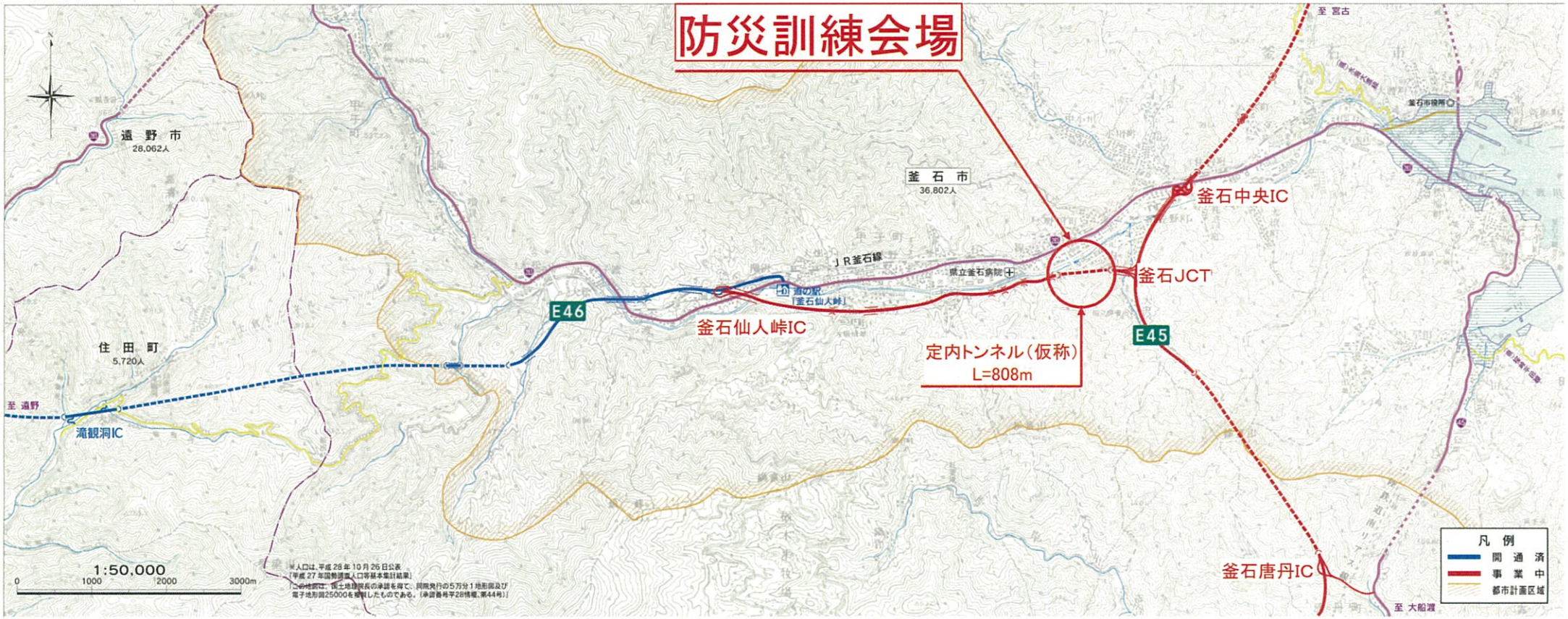
＜記者発表会：岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、東北専門記者会＞

問い合わせ先

《防災訓練関係》
国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所　TEL (0193)-62-1711（代）
副 所 長　吉田（よしだ）　良勝（よしかつ）　（内線205）

《東北横断自動車道釜石秋田線事業関係》
国土交通省　東北地方整備局　南三陸国道事務所　TEL (0193)-28-4731（代）
副 所 長　古川（こかわ）　哲治（てつはる）　（内線204）

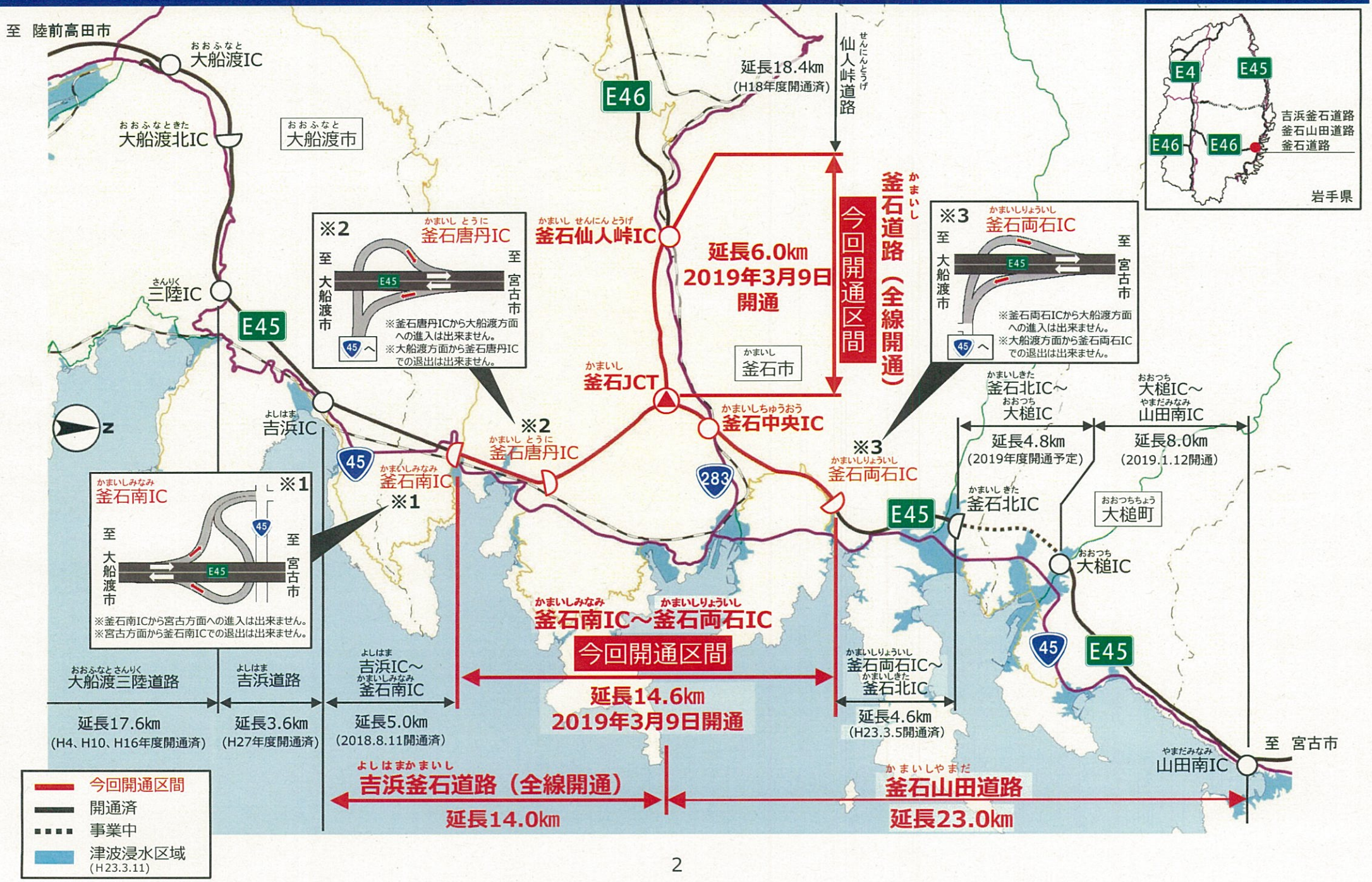
定内トンネル（仮称）防災訓練会場位置図



定内トンネル（仮称）防災訓練会場案内図



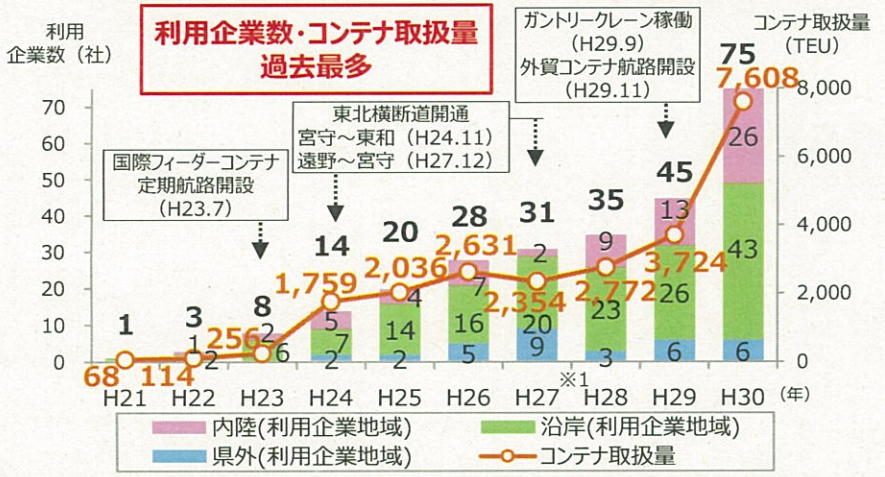
釜石JCT周辺位置図


至 陸前高田市
大船渡IC
大船渡北IC
大船渡市
E46
延長18.4km
(H18年度開通済)
仙人峠道路
E4
E45
吉浜釜石道路
釜石山田道路
釜石道路
E46
E46
岩手県
※2
釜石唐丹IC
至 大船渡市
至 宮古市
E45
45
へ
※釜石唐丹ICから大船渡方面への進入は出来ません。
※大船渡方面から釜石唐丹ICでの退出は出来ません。
釜石仙人峠IC
延長6.0km
2019年3月9日
開通
今回開通区間
釜石道路（全線開通）
釜石市
釜石JCT
※3
釜石両石IC
至 大船渡市
至 宮古市
E45
45
へ
※釜石両石ICから大船渡方面への進入は出来ません。
※大船渡方面から釜石両石ICでの退出は出来ません。
三陸IC
E45
吉浜IC
釜石北IC～
大槌IC
延長4.8km
(2019年度開通予定)
大槌IC～
山田南IC
延長8.0km
(2019.1.12開通)
※2
釜石唐丹IC
45
釜石南IC
※1
釜石中央IC
283
※3
釜石両石IC
釜石北IC
E45
大槌町
大槌IC
※1
釜石南IC
至 大船渡市
至 宮古市
E45
45
※釜石南ICから宮古方面への進入は出来ません。
※宮古方面から釜石南ICでの退出は出来ません。
釜石南IC～釜石両石IC
今回開通区間
延長14.6km
2019年3月9日開通
大船渡三陸道路
吉浜道路
吉浜IC～
釜石南IC
釜石両石IC～
釜石北IC
延長17.6km
(H4、H10、H16年度開通済)
延長3.6km
(H27年度開通済)
延長5.0km
(2018.8.11開通済)
延長4.6km
(H23.3.5開通済)
45
E45
至 宮古市
山田南IC
吉浜釜石道路（全線開通）
延長14.0km
釜石山田道路
延長23.0km
今回開通区間
開通済
事業中
津波浸水区域
(H23.3.11)

岩手県南部の高速道路ネットワーク直結により復興を牽引

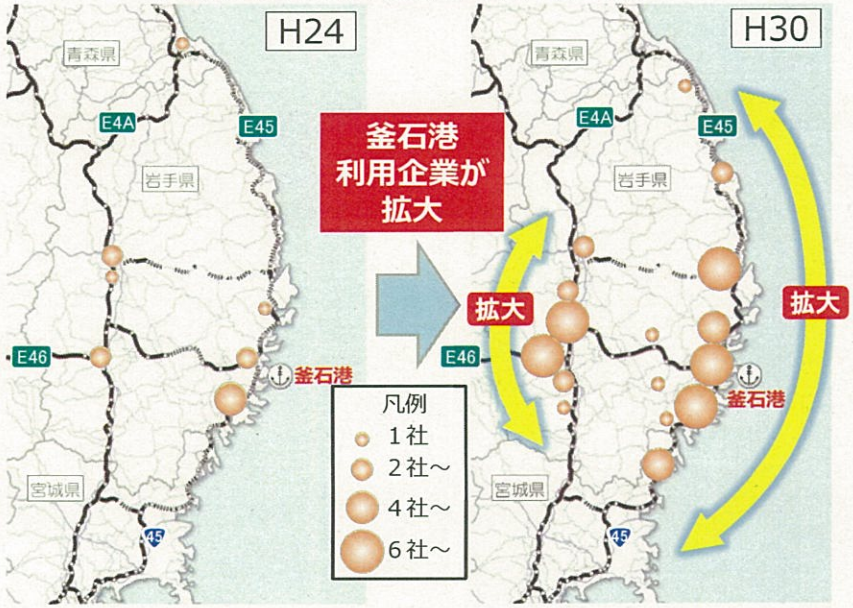
◆釜石港では復興道路等の開通や港の機能向上とともに、港利用企業数やコンテナ取扱量が増加し、利用企業の範囲が拡大。
◆復興道路・復興支援道路の既開通区間では、国際海上コンテナ車の通行が増加傾向であり、物流道路としての機能を発揮。
◆今回の開通により、岩手県南部の高速道路ネットワークが直結。物流効率化で岩手の産業活性化を支援し、復興を牽引。

▼ 釜石港利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移

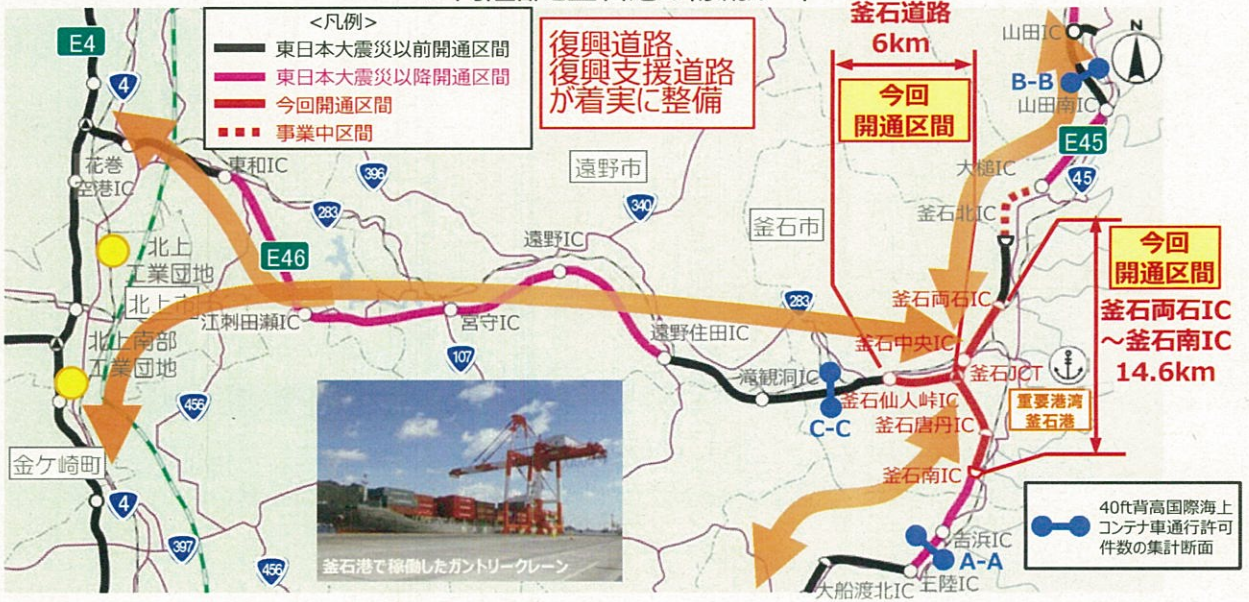


※1：H27は復興建設発生土の輸送分（2,066TEU）を除いた値　　資料：釜石市

▼ 釜石港利用企業数の自治体別変化



▼ 内陸部と釜石港の物流ルート



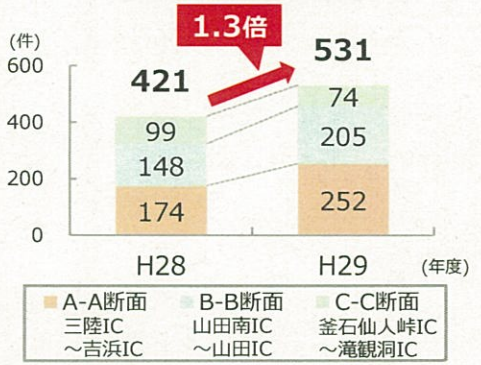
《釜石市に立地する釜石港利用の輸送業者の声》

・自動車部品を北上市まで三陸沿岸道路と東北横断道を利用して輸送しています。
・釜石JCT周辺と横断道の開通によって、現道の混雑区間を通行する必要がなくなり、出発及び出勤時間を30分遅らせることができると考えています。また、釜石への戻りが早くなれば、市内の輸送業務にもより多く携われます。　（H30.11　企業ヒアリング調査結果）

《釜石市国際港湾振興課の声》

・高速交通網の結節点という地理的優位性、無料で通行可能というコスト競争力を有することから、更なる釜石港の利用拡大、コンテナ航路の拡充、ひいては釜石港の国際貿易拠点化に大きく寄与します。　（H30.8　釜石市ヒアリング調査結果）

▼釜石JCT周辺の自動車専用道路における40ft背高国際海上コンテナ車通行許可件数の変化



資料：国土交通省、40ft背高国際海上コンテナ車通行許可申請件数
※一定の大きさや重さを超える車両（特殊車両）の通行には、あらかじめ道路管理者の許可が必要

広域周遊ルートの形成による観光振興を支援

◆三陸沿岸地域は、三陸復興国立公園(H25.5指定)・三陸ジオパーク(H25.9認定)など、魅力的な観光資源が数多く点在。
◆岩手県・沿岸南部地域の観光入込客数は震災後横ばい傾向の中、外国人観光客数は震災前の約７倍に増加。
◆今回の開通により花巻空港などの交通拠点とのアクセス性及び周遊性の向上により、沿岸地域の持続的な観光振興を支援。

内陸の観光地

わんこそば(盛岡市)



(盛岡市入込客数：387万人/年)

花巻温泉郷(花巻市)



(花巻市入込客数：212万人/年)

展勝地(北上市)



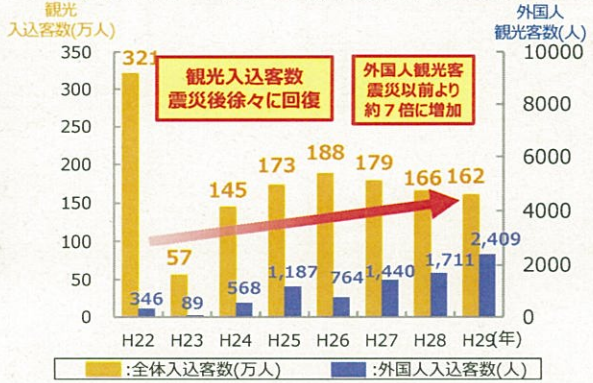
(北上市入込客数：138万人/年)

写真：岩手県観光協会



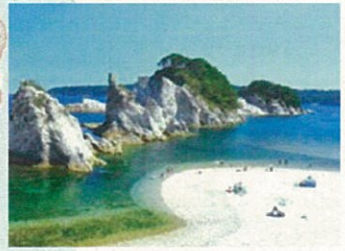
※主な観光地は、自治体観光協会、自治体統計書等に掲載の主要観光地点等を参考に、花巻市、北上市、奥州市、遠野市、住田町、釜石市、平泉町、大船渡市に立地するものを抽出。
※三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するためにH25.5に創設された国立公園。
※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学び、まるごと楽しむことが出来る場所。三陸ジオパークは、H25.9に日本ジオパークとして認定された日本一広大なジオパーク。

▼岩手県・沿岸南部地域の観光入込客数の推移



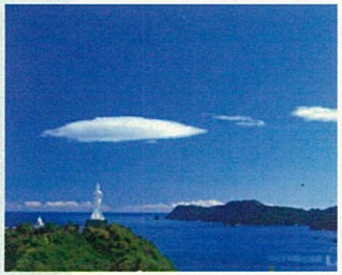
沿岸の観光地

浄土ヶ浜（宮古市）



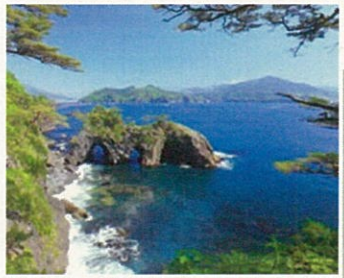
(宮古市入込客数：113万人/年)

釜石大観音（釜石市）



(釜石市入込客数：28万人/年)

碁石海岸（大船渡市）



(大船渡市入込客数：69万人/年)

《世界遺産を巡る観光ルート》



世界遺産 平泉(平泉町)



(平泉町入込客数：216万人/年)

世界遺産 橋野鉄鉱山(釜石市)



(釜石市入込客数：28万人/年)

《釜石観光物産協会の声》

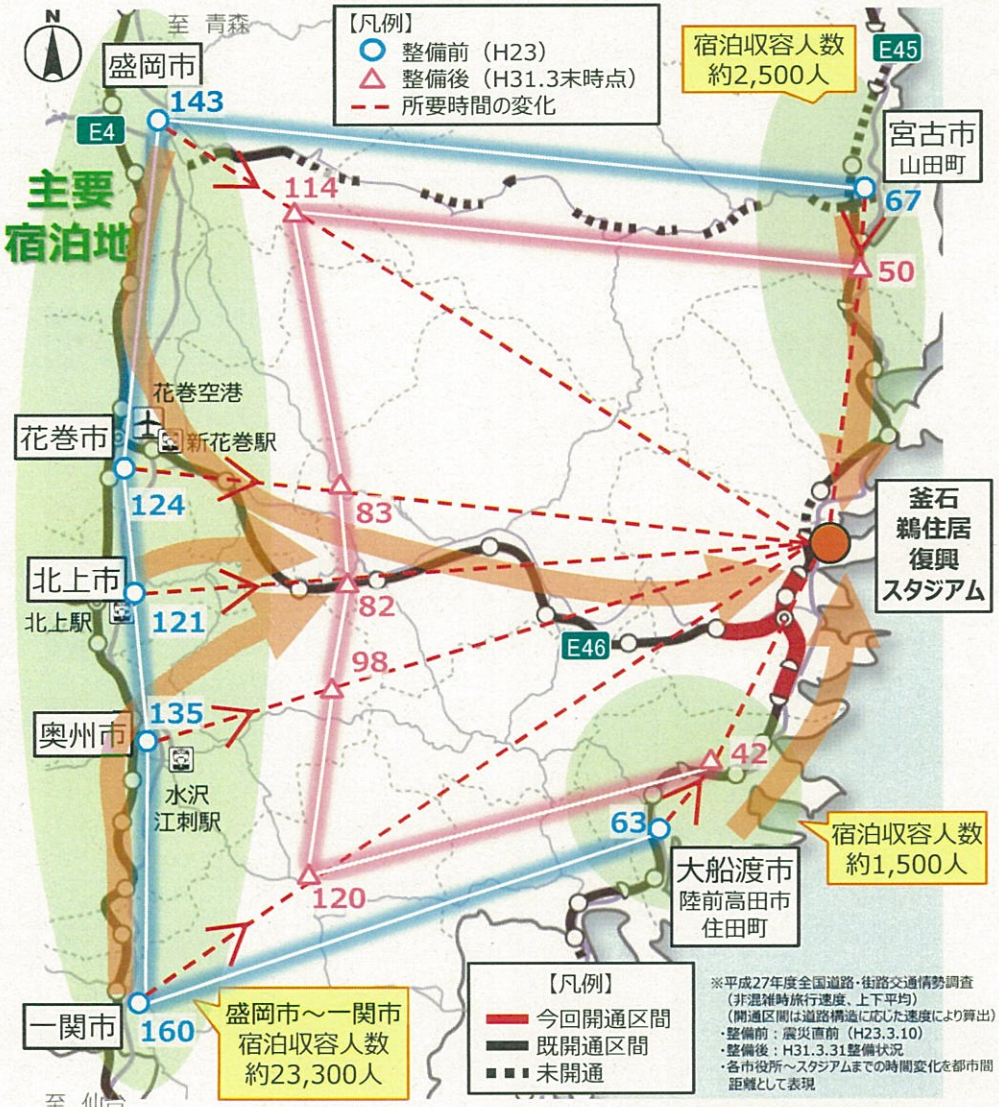
・橋野鉄鉱山を巡るツアーでは、今回の開通により滞在時間の増加や更に他の観光地へ向かうことが期待できます。
・世界遺産の平泉や橋野鉄鉱山を巡る旅行雑誌も増えてきており、開通により更に来訪者数の増加につながり、広域周遊ルートの形成に期待しています。

(H31.2 ヒアリング結果)

復興の姿を世界へ発信「ラグビーワールドカップ2019™」釜石開催を支援

◆釜石市は「ラグビーワールドカップ2019™」の東北で唯一の開催地。
◆地元岩手県や釜石市は、東日本大震災における支援への感謝と、復興の姿を世界へ発信。
◆道路整備により、会場から宿泊施設や交通拠点（空港・駅）などへのアクセス性向上が図られ、大会の成功を支援。

▼釜石鵜住居復興スタジアムまでの時間(分)



宿泊施設の収容人数資料:釜石市

▼ラグビーワールドカップ2019™の開催概要

項目	内容
主催	ワールドラグビー（World Rugby）
開催期間	2019年9月20日(金)～11月2日(土)（約7週間）
参加チーム	20チーム（試合形式：総計48試合）
試合会場	日本全国12会場（うち東北では釜石市のみ）
釜石会場 試合日程	・2019年　9月25日(水)　14:15～　フィジー　対　ウルグアイ ・2019年10月13日(日)　12:15～　ナミビア　対　カナダ

出典：ラグビーワールドカップ2019™公式HP

釜石市・大槌町
宿泊収容人数
約1,500人
（圧倒的に収容数が不足）

高速交通ネットワークをフル活用し、広域での宿泊先確保！

来場者数の推計 13万人※

岩手県への経済波及効果は 約83億円※

※来場者数の推計及び経済波及効果は試合日程決定(H29.11.2)前時点
出典：岩手経済研究所・日本政策投資銀行東北支店　H28.9.29
条件：【大会関係】本大会3試合、パブリックビューイング10試合、プレ大会2試合、キャンプ1箇所（県内公認チームキャンプ地）。
【来場者】キャンプ以外は収容人数×開催試合数、キャンプはチームメンバー(51人)、本大会4万8千人、パブリックビューイング5万人、プレ大会3万2千人、延べ約13万人。

《ラグビーワールドカップ関係者の声》

・ワールドカップ開催に向けて、交通拠点・主要宿泊地と釜石を結ぶ安定したアクセスルートの確立が必要です。
・大会を成功に導くため、復興道路、復興支援道路をフル活用していきたいと考えています。
・本大会を契機に更なる復興の飛躍に期待しています。

（H31.1　釜石市ヒアリング結果）

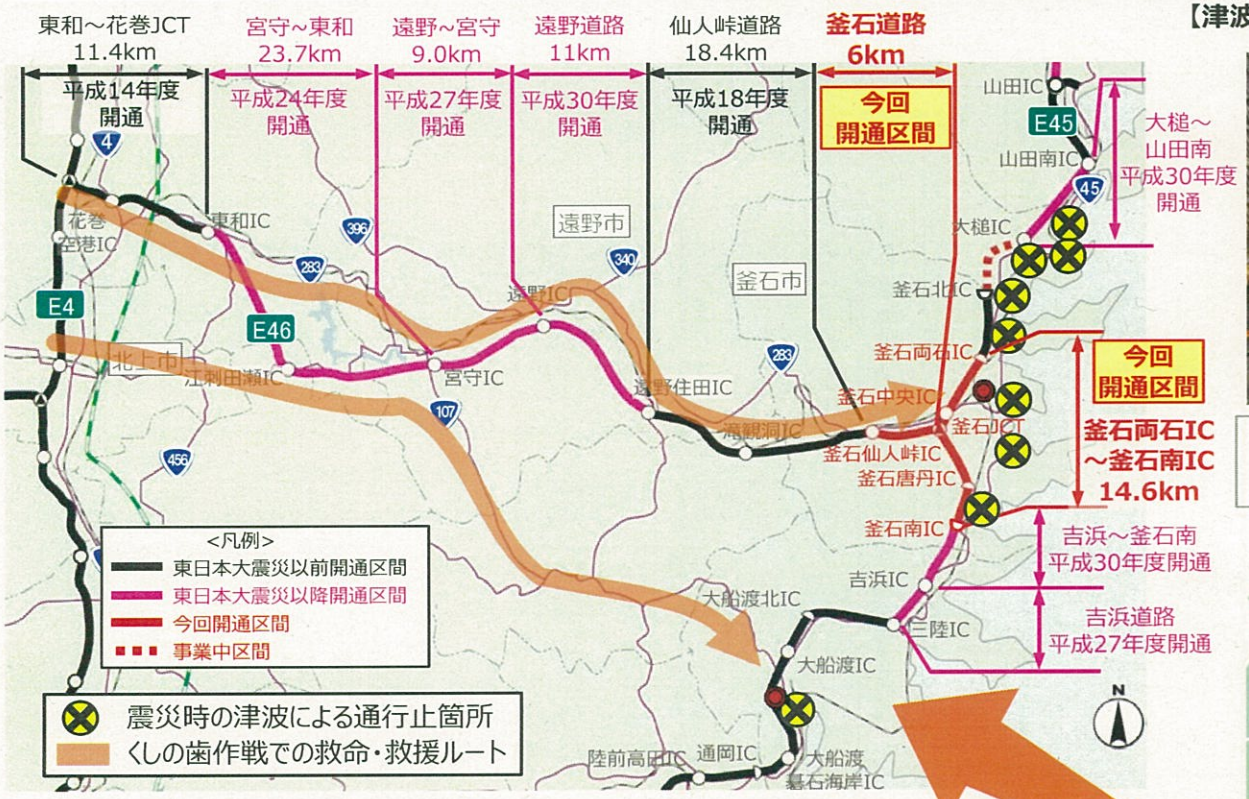
▼釜石鵜住居復興スタジアム



出典：南三陸国道事務所

強靭で信頼性の高い高速ネットワークを形成

◆東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が流失し、多くの箇所で通行止が発生(釜石市で最大約1.5ヶ月)。
◆内陸部から「くしの歯」のように沿岸部に伸びる何本もの国道を救命・救援ルート確保に向けて切り開く「くしの歯作戦」作戦を実行。
◆道路ネットワークの整備により、「くしの歯作戦」当時より更に信頼性、確実性、速達性のある災害時の支援が可能。



▼救援・救助活動の支援
（一般国道２８３号　遠野市内）



《くしの歯作戦》
津波により壊滅的な被害を受けた太平洋沿岸の各地に向け、くしの歯状の救命・救援ルートを確保

【津波で通行止めとなった国道45号の状況】【一部開通していた釜石山田道路の状況】



釜石市両石地区
道路流出により4/28までの
約1.5ヶ月通行止め



避難路・緊急輸送路として機能を発揮した
釜石両石IC～釜石北IC間



出典：東北地方整備局　震災伝承館HPより

《釜石消防署の声》

・震災直前に開通した三陸道釜石北IC～釜石両石IC間が避難道路となり、物資の輸送や患者の搬送道路にも役立ち、まさに“いのちの道路”として役立ちました。
・今回の開通区間は津波浸水区域を通行しないため、緊急輸送等への貢献が大きく、道路の重要性を改めて認識させられます。

（H31.2　ヒアリング結果）